


湯前小学校 校長室だより		令和4年 7月12日 第5号 文責 吉村 和仁
---------------------	--	----------------------------------

○交通事故によって失われるもの、変わる人生

先日、熊本県の交通安全教室講習会に参加しました。交通事故でお子様をなくされた保護者の方が講演をされました。

何の落ち度もない自分の子どもが、突然交通事故に遭い、病院に運ばれたときのことから話をされました。駆けつけた家族の呼びかけに、必死にうなずきながら生きようとする子どもの様子、そして、医師の説明、静かに息を引き取っていくときの様子を、一つ一つの言葉をかみしめながら話していかれました。

自転車で登校中の事故だったことに対しての、「自動車で送ってあげればよかった。」との家族の後悔。突然、姉を失ってしまった妹の心の傷。近所の人と顔を合わすことの辛さ。交通事故によって、尊い命が失われるだけでなく、周りの人々の人生が大きく変わっていったことを伝えられました。

また、講演では、加害者についても話をされました。加害者は、当初は虚偽の供述をしていたとのこと。そのような加害者に対しても、怒りだけでなく、事故を防ぐための選択肢があったことを、加害者に言い聞かせるように語られました。

改めて、交通事故で失うものの大きさを考えさせられました。わたしたちは、いつ被害者になるか、加害者になるかわかりません。車であっても、自転車であっても、歩行者であっても同じです。交通事故がないことを願っています。

なお、県内の子どもの交通事故は、小学生が「飛び出し」、中学生が「自転車」が事故原因として一番多いということです。

○PTA地区懇談会の中止について

7月14日（木）のPTA地区懇談会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、中止とします。地区委員様には準備をしていただき、また、会員の皆様もご予定をされていたかと存じます。

急な中止によりご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

○自分の役割があるということ

組織の中で自分の役割があるのは嬉しいもので、自分が大切にされていることに気づいたり、助け合うことの意味に気づいたりするなど、多くのことを学ばせてくれます。学級での日直や係活動、高学年の委員会活動も同じような目的で行っています。

さて、間もなく夏休みを迎え、家庭で生活する時間が増えます。児童には、校長からの夏休みの宿題として、家庭で自分の役割を見つけ、やってみるよう話をするつもりです。ご家庭では、温かい目で見守っていただき、励ましの声掛けをしていただきますようお願いいたします。すべては、そこから、広がっていきます。